

第3版の序

本書は、栄養科学イラストレイテッドシリーズの1つ『解剖生理学 人体の構造と機能 第3版』の演習版です。『解剖生理学』は2010年に初版が刊行され、2014年の改訂第2版を経て、このたび、第3版を発行することになりました。これに合わせ、この演習版もリニューアルすることとしました。しかし、基本的なコンセプトや編集方針は初版刊行以来変わりません。本書は、管理栄養士養成のための教科書であるテキスト版『解剖生理学』の学習を演習という形の鍛え・トレーニングをとおして強化・補完するためのものです。ですから、姉妹版のテキストと同じく、管理栄養士にとって大切な「人間栄養を理解するための解剖生理学」という考えに基づいて、人体の全体像を栄養と関連づけて理解するのに役立つよう、人体のしくみを、その構成単位である細胞レベルから組織・器官・器官系レベルまで、構造と機能との密接な関連のもとに、体系的に理解することをめざしています。

一方、管理栄養士国家試験出題基準（ガイドライン）は、4年ごとに改定するのが望ましいとされ、2019年3月に新たな基準が示されました。そこで、テキスト版の第3版では、まず、新たな管理栄養士国家試験出題基準に沿って内容を見直すとともに、ブラッシュアップを図りました。また、用語の表記は管理栄養士国家試験に合わせたものに統一するようにしました。実際に本書を教科書として採用してくださっている管理栄養士養成校の教員の方々からいただいた貴重なご意見も参考にしております。さらに、高等学校の教科書で用いられる学生に馴染み深い用語も残すようにしております。この演習版は、このような経緯で発行された『解剖生理学 第3版』を忠実に踏襲しています。

管理栄養士は、食・健康と栄養の分野のプロです。プロに必要な豊かな応用力は、確かな基礎力の上に築きあげられます。スポーツの世界も同じで、プロとアマ（素人）の違いは、基礎力、それを育むトレーニングです。この自学自習用演習版は、トレーニングによる記憶のストックづくり、また、“なぜだろう、ああそうか、なるほど、だとすると…”という知的トレーニングにも役立つはずです。ぜひ活用してください。

なお、本書の内容・記述については、誤りなどがないよう努めて参りましたが、本書をよりよいものとできるよう、もしお気づきの点などがあればぜひご指摘・ご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

最後に、今回の第3版の発行にあたり大変お世話になった羊土社編集部の田頭みなみ氏はじめご関係の皆様に心から感謝いたします。

2020年1月

志村二三夫
岡 純
山田 和彦